

謹賀新年

真結の会

福島市議会

まゆのかい



齋藤 正臣 尾形 武 穴戸 一照 菅原 美智子 真田 広志 鈴木 正実 二階堂 武文 川又 康彦 根本 雅昭

本年3月から本議会が開かれる新議場の議長席前にて

MAYU NO KAI
Vol.21

福島市議会 真結の会
— 令和7年1月 —

発行責任者：真田広志
福島市五老内町3番1号
TEL▶024-533-7613
FAX▶024-533-7613
URL▶https://f-mayu.jp



市民の皆様と真に心を結び、人々が生き生きと、そして心穏やかに暮らせる県都・ふくしま、県境を越えた広域圏域のリーダーにふさわしい中核市・ふくしまの実現を目指す。

真結の会 綱領

市民の皆様と同じ目線に立ち様々な政策提言をするとともに、厳しい環境に取り巻かれている地方議会の在り方を見つめ直し真に開かれた、期待される議会を目指す。

この印刷物はユニバーサルフォントを使用しています。

会長あいさつ

新年を迎えて

真田 広志

市民の皆様には、輝かしい希望に満ちた新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。昨年は「真結の会」の活動に対し格別のご支援とご協力を賜り深くお礼申し上げます。

さて、東日本大震災からの復興が着々と進められる一方、能登半島や豊後水道における巨大地震、局所的な豪雨など激甚化・頻発化する自然災害や、ロシアのウクライナ侵略などを背景とした物価上昇やサプライチェーンの混乱など、経済

情勢の著しい変化が市民生活に大きな影響を及ぼしております。

更には、現在進められている福島駅前交流・集客拠点施設整備事業や、市民センター建設などのまちなか拠点整備といった大型事業の本格化などにより投資的経費額が高水準で推移し、令和10年度には財政調整基金及び減債基金も底をつくとの見通しが出ていることから、これまで以上に歳入歳出の収支均衡の堅持を意識し、将来に向け健全な財政基盤の確立を図る必要があります。

私共「真結の会」は会派一丸となり、それら課題の解消に向け、全力で取り組んでまいりますので、一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

12月定例会議の報告

令和6年度定例会議は12月2日に開会し、一般会計補正予算等の議案23件及び報告1件が提出され、原案通り可決または承認しました。補正予算総額13億6千万円余の主な内容は、子宮頸がんワクチンの予防接種に係る経費やキャッチアップ接種を継続的に勧奨する他、凍霜害対策観測システムをICT化するための経費です。また、上下水道事業を一体運営し、施設の老朽化・防災対策を推進

関係条例の整備に関する条例が制定されました。さらに、土湯こけし等の伝統的技術を文化財として保護・継承するため、福島市文化財保護条例の一部が改正されました。

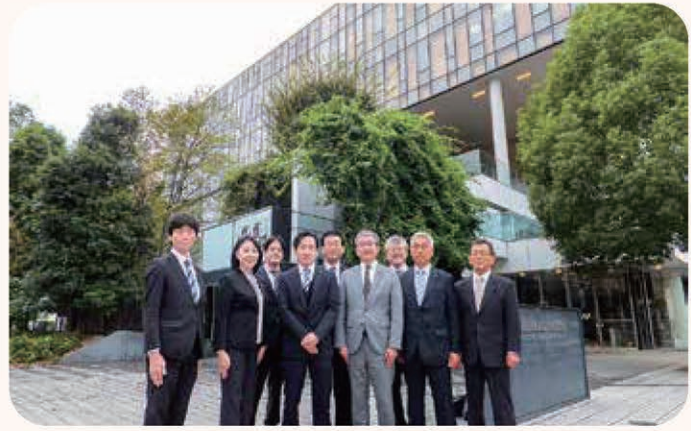
会議の期間中には追加議案が16件提出され、原案通り可決しました。主な内容は職員給与に関する条例等の一部を改正する条例で、若年層の職員に重点を置いた給与の引き上げに対する費用を計上するものです。

令和8年度「上下水道局」設置に向けた

一般質問では、当会派から4議員が諸課題を質しました。

MAYU NO KAI TOPICS

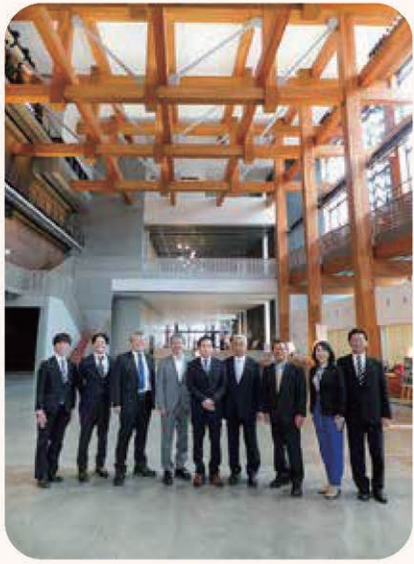
10月9日 埼玉県春日部市 ふれあいキューブ



平成23年にオープンした本施設は、埼玉県と春日部市共同による産業の振興と地域住民の活動・交流を促進するための複合拠点施設です。1階にある多目的ホールは約1000㎡のフラットなスペースで、大規模なイベントから小規模なイベントまでフレキシブルに対応する三分割可能なホール構成です。これまで講演会、式典会、パーティ、展示やプロレスのイベントなど、多様な催し物に利用されてきました。今回は、県が管理する施設部分の指定管理者から、14年目になる現状について伺いました。「今年度の稼働率は83・4%で落ち着きそうです。当初、コンベンション中心だと思っていましたが、そうではありませんでした。多目的ホールの使い方は、お客様が見つけてくれます。地域密着で様々なニーズやステークホルダーに対応してまいりました。」

春日部市の経験から学べるのが、駅東口再開発のコンベンション計画にも多くあることを実感しました。

10月10日 茨城県水戸市 水戸市民会館



水戸市民会館は、泉町1丁目北地区再開発事業で令和5年7月にオープンした施設です。地上4階・地下2階で延べ床面積は23232㎡（うち水戸市民会館部分は21808㎡）、総工費は約192億円、うち国交付金81億円、市の負担額は91・7億円です。

平成30年にECI方式（設計段階から施工者が参画し施工の実施を前提として設計に対する技術協力を行うもの）により工事契約の優先交渉権者が決定された後、令和元年に既存の建築物解体工事と市道の整備工事が始まり、令和2年に施設建築物工事が着工されました。構造は鉄筋コンクリート造一部鉄骨造及び木造です。1階は権利床の店舗・2000席の大ホール・やぐら状の木組み広場で、2階は展示室・スタジオ・調理室・音楽室・工作室・こどもギャラリー等、3階は大会議室・中会議室・小会議室等、4階に482席の中ホール・小ホール・芝生広場等があり、市民の日常利用も可能な気軽に立ち寄りたくなる魅力的な施設です。

10月11日 栃木県宇都宮市 ライトキューブ 宇都宮



宇都宮駅東口地区整備事業（広さ2・6ha、総事業費455億円）で整備された4階建ての市交流拠点施設です。延べ床面積は11485㎡、設計は隈研吾氏で、地元の大谷石を使ったデザインが印象的です。JR宇都宮駅と直結しています。

1階に2000人の大ホールと80人の小会議室8室、2階には300人の大会議室2室、3階に700人の中ホール、4階には100人の小会議室が2室あります。1、2、3階には交流広場も設けられ、2階広場と大階段で結ばれた1階広場はライトレールの停留所と隣接しています。また全面芝生の3階広場は中ホールと一体利用できます。整備費は建物が約96億円、広場が3億円、3階建ての駐輪場約6億円の約105億円です。

首都圏に近い利便性の高さやバンケット機能、魅力的な観光地などMICE施設として高い評価を受け、全国的な学会や全国大会、展示会等を数多く開催しています。

11月11日 宮城県仙台市 仙台国際センター

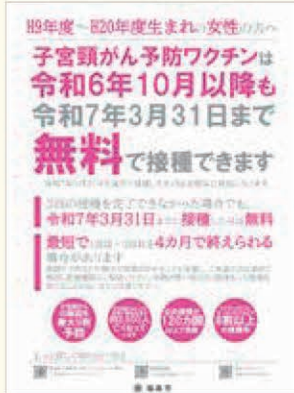


東口再開発事業複合施設のアドバイザー契約をしている日本コンベンションサービス(株)が運営に関わる仙台国際センターは、仙台駅から地下鉄東西線で5分、東北大学や学術・文化施設が立ち並び自然豊かな青葉山の一角にあり、グローバルMICE都市を目指す仙台市のMICE開催拠点となっています。

5社の構成による青葉山コンソーシアムが平成27年から令和7年まで指定管理を受け、東北大学や青葉山一帯の施設と連携してMICE受入体制を構築しています。施設は大中小会議室を有する会議棟及び3分割可能な3000㎡のコンベンションホールを併せ持ちます。2023年の催事件数は540件で、利用者数は21万9千人余です。稼働率は会議棟51・5%、展示棟69%で、展示棟は生活防音ながらフレキシブルに活用し稼働率は分割利用44・6%、一体利用で24・4%です。利用諸収入は約6億円余ですので、利用料金のみで運営可能です。

文教福祉

◎川又康彦／穴戸一照



【健康福祉部】子宮頸がんワクチンのキャッチアップ接種を促す多種多様な接種勧奨などにより、接種回数が当初より大幅に増え1万回以上となる見込みとなったため、接種に関する委託料を増額するための2億4,200万円を計上しました。

【こども未来部】ふくしま児童公園SFCももりんパークの令和7年度から5年間の指定管理者を公募によりエスエフシー株式会社として、5年間の債務負担行為として合計5,755万円余を計上しました。

【教育委員会】令和7年度から使用する小中学校の教師用の教科書・指導書の購入費用に、それぞれ686万円余、6,708万円余を計上しました。

【こども未来部】

【総務部】令和7年4月1日付で都市政策部の下水道室を市長部局上下水道局、水道局を上下水道局とするため部設置条例の一部を改正します。大規模自然災害に備え上下水道施設の一体的な老朽化対策や防災対策等を推進し、経営基盤の強化や安定的なサービス提供を図ります。令和8年度には「上下水道局」として一体運営する予定です。

【消防本部】市消防団第22分団（野田町）の屯所車庫を、三河台学習センター広場敷地内に移転新築するために必要な測量、地質、基礎構造設計業務の委託料130万円を計上しました。また、同第29分団（松川）2部の屯所車庫の移転新築に伴う工事請負費3,200万円を計上しました。



市消防団第22分団（野田町）の屯所車庫建設予定地（三河台学習センターの広場）

総務

◎鈴木正実／二階堂武文
菅原美智子

福島市議会には4つの常任委員会があり、あらかじめ決められた担当所管について、少人数で集中的に審議を尽くすために設置された委員会です。それぞれが所管する

常任委員会の報告

【環境部】事業者等による家庭用ごみ集積所への不法投棄を防止するとともに市民の分別意識を高めごみの減量及びリサイクルの推進を図るため、①家庭ごみ（排出ルールが守られず特に悪質度高いと判断されたごみ）②事業系ごみ（通常家庭から排出されたとは考えにくく、事業系ごみの可能性が高いごみ）を対象に、開封調査等を可能とする新たな規定を設ける福島市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例制定の件について、開封作業による個人情報の流出や、違反者の氏名等を公表することについて懸念があるものの、開封に至るまでに黄シール及び赤シールを貼付し段階的な警告を行う説明があり、承認しました。



事務の調査、議案、請願、陳情などの審査を行います。なお、□内は、それぞれの常任委員会における当会派の所属議員名です。◎は委員長。

【市民文化スポーツ部】地域において伝承されてきた「土湯伝統こけし製作技術」を「民俗技術」として市指定文化財とすべく、福島市文化財保護条例の改正を行いました。

【商工観光部】令和7年度に開催する商店街等活性化イベントについて、一年を通じた賑わいづくり及びイベントの少ない傾向にある春季の開催を積極的に支援するため、令和6年度中の補助交付決定ができるよう3,600万円の債務負担行為を設定しました。

【農政部】凍霜害対策事業費として286万円を計上し、本市防霜対策本部の防霜観測システム（JA）のICT化を支援することにより、農家の利便性向上並びに事務負担軽減や経費削減を図ります。



経済民生

◎根本雅昭／真田広志

建設水道

◎尾形武／斎藤正臣

令和7年度 福島市予算編成に対する要望書 予算要望にあたって

本市においては、次年度以降において、現在進められている福島駅前交流・集客拠点施設整備事業や、市民センター建設などのまちなか拠点整備といった大型事業の本格化などにより投資的経費が高水準で推移、実質公債費比率も急速に跳ね上がり、令和10年度には財政調整基金及び減債基金も底をつくとの見通しが出ていることから、これまで以上に歳入歳出の収支均衡を意識しながら、将来に向け健全な財政基盤の確立を図る必要があります。



超少子高齢化社会を迎え、今後の行財政運営に関しては、次世代に過度な負担を残さず、中長期的な視点に立った財政見通しのもと、限られた行財政資源の有効活用を図りながら「事業の選択と集中」により、財政収支バランスのとれた健全な財政運営が行われるよう期待し、要望致しました。

超少子高齢化社会を迎え、今後の行財政運営に関しては、次世代に過度な負担を残さず、中長期的な視点に立った財政見通しのもと、限られた行財政資源の有効活用を図りながら「事業の選択と集中」により、財政収支バランスのとれた健全な財政運営が行われるよう期待し、要望致しました。

- 1. 出会い、結婚、子育て 若い世代に選ばれるまちづくり
(1)定住するなら福島市へ 夢が描けるまちづくり
(2)教育環境の充実
2. 活気あふれる、ずっと住みたいまち
(1)福島らしい中心市街地の活性化
(2)災害への万全な体制づくり
(3)ふくしま田園中枢都市圏域内の連携強化
(4)持続する農林業
(5)県都にふさわしい商工業の振興
(6)温室効果ガスの削減の推進
(7)新たな視点による観光の展開
3. 子どもや障がい児（者）、高齢者にも優しい福祉のまち
(1)子どもを守るための福祉体制の拡充
(2)障がい者の自立を目指す支援態勢
(3)元気な高齢者まちづくり
4. 文化香る、緑豊かな、住み心地のいいまち
(1)文化レベルの向上
(2)豊かな自然、魅力ある歴史、文化を未来へ
(3)共創の推進と市行政機能の一層の充実



令和6年12月定例会議一般質問(抜粋)

今回の12月定例会議において、当会派からは尾形武議員、穴戸一照議員、斎藤正臣議員、菅原美智子議員の4名が、当面する市政各般の課題について質問しました。



今年度の農業生産概況について

米価が約30年前の価格に戻りJAふくしま未来での概算金が1俵2万円となったが、この水準を来年度以降も安定化させるための対応策を伺いました。

当局からは、同水準の価格を維持するためには消費者による「生産コストに見合う適正価格」への理解が必要である一方、家計負担が増加するため生産者と消費者の双方を考慮した対策が必要であり、今般の農業資材高騰は不安定な国際情勢や円安に起因する全国的な課題であり、農業者が安心して米生産に取り組むための対策について全国市長会を通して国等へ働きかけると答弁がありました。

里山を太陽光発電施設設置禁止区域とすることについて

中山間地で生活する市民は、里山を様々な生産活動に活用し生計を立てています。里山である民有林(5条森林)を本条例(案)の禁止区域に加えることにより、市民の生活や経済生産活動を制限することになるのではないかと伺いました。

当局からは、太陽光発電施設に活用できない面では経済活動への影響はありますが、森林の有する多面的機能の発揮や健全な森林資源の維持への影響は抑制されることで地域住民の生活環境が維持され公共の利益は守られるという観点から、民有林(5条森林)を禁止区域とすることに合理性があると答弁がありました。

中心市街地において行政が果たすべき役割について

中心市街地で空き店舗が多いテナントビルが、家賃収入を生むテナントビル等へとリノベーションするために資金調達やテナントリーシング等のマネジメントをする中で、行政が果たすべき役割について見解を伺いました。

当局からは、残念ながら現在の本市はそのための民間投資が減少傾向であり、街なか再生のためには、民間投資を促すためのマインドを改善する必要があることから、テナントビルへの建替えやリニューアル、そして未利用地でのテナントビル建設などのための支援策を来年度当初予算に検討していると答弁がありました。

在宅介護と孤立防止について

県北地域は在宅ケアにおいて終末期医療を受けている人数が多いが、一人暮らしの高齢者が受ける在宅医療の課題を伺いました。

当局からは、身寄りのない方の場合、入退院手続きやお金の管理、亡くなった後の手続きを誰が行うのか、看取りや延命治療に際し本人意向の反映が課題であり、福島市在宅医療・介護連携支援センター「在タッチ」で、多職種連携による在宅・介護医療を一体的に提供できる体制構築を推進すると答弁がありました。

- ・フリースクールの活用について
- ・東口駅前再開発と財政計画について
- ・ごみ排出ルールについて

今回の質問の全体内容は、福島市議会ホームページ【<https://www.city.fukushima.fukushima.jp/gi-soumu/shise/shigikai/>】の「議会議録中継」でご覧いただけます。

当会派と真政会が共同で提出した意見書が採択! 詳細は二次元コードでご覧ください

課税最低限引き上げの税制改正における国による恒久的な税制措置等の地方財政への配慮を求める意見書

ビスの質の低下を招く恐れがあります。このため以下の2項目についての意見書を提出しました。

- 1 制度改正の全体像について、地方自治体や関係者の意見を丁寧に聴取し、現場の実情を踏まえた政策立案を進めること
- 2 地方財政への配慮として、課税最低限引き上げの税制改正における地方の減収が地方財政に影響を生じることがない制度設計を早急に行うこと

斎藤 正臣
さいとう まさおみ
政調会長

- 建設水道常任委員
- 議会運営副委員長
- 議員定数に関する調査特別委員長

渡利字七社宮5番地のヴェルードーネ七社宮301
TEL 521-2342

穴戸 一照
ししど かずてる
顧問

- 文教福祉常任委員

荒井字上町裏10番地
TEL 593-1035

真田 広志
さなだ ひろし
会長

- 経済民生常任委員
- 複合市民施設に関する調査特別委員

松浪町1番15号
TEL 523-3201

根本 雅昭
ねもと まさあき
総務会長

- 経済民生常任委員長
- 複合市民施設に関する調査特別委員
- 議員定数に関する調査特別委員

渡利字七社宮39番地の1
TEL 070-5092-6801 <https://m-nemoto.com/>

尾形 武
おがた たけし
相談役

- 建設水道常任委員
- 監査委員

松川町浅川字大古内9番地
TEL 548-7683

二階堂 武文
にかいどう たけふみ
副会長

- 副議長
- 総務常任委員

町庭坂字内町51番地の2
TEL 591-1138 <http://nikaidou.net/>

菅原 美智子
すがわら みちこ
総務会副会長

- 総務常任委員
- 議会運営委員

TEL 553-0711
<https://michikopro.jp/>

川又 康彦
かわまた やすひこ
幹事長

- 文教福祉常任委員長
- 議会運営委員
- 複合市民施設に関する調査特別委員
- 議員定数に関する調査特別委員

飯坂町字湯町25番地 TEL 090-2841-1529
<http://kawamata-yasuhiko.com/>

鈴木 正実
すずき まさみ
副会長

- 総務常任委員長

飯坂町平野字林添1番地の101
TEL 543-1218